

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 ハッピーテラス太田教室

		チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	1,利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	40.0%	60.0%	0.0%	10名定員のところ、フルで利用があった際に狭く感じる。生徒の安全確保のための環境配慮や整備が必要になってくる。	
	2	2,利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	60.0%	40.0%	0.0%	職員の勤務調整や、配置など、状況によって各自判断している。	送迎サービス中の職員配置に不安がある。
	3	3,生活空間はこどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	60.0%	20.0%	20.0%	利用対象生徒が安全に過ごせるように、イラスト等を用いて子どもでもわかりやすい配慮をしている。	部屋と部屋の間に段差があるため、車いすの方の利用には適していない。
	4	4,生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%	0.0%	掃除だけでなく、事務用品や遊具の消毒も毎日に近い頻度で行っている。	
	5	5,必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	60.0%	20.0%	20.0%	必要に応じて別室の使用を開放している。	壁の上部が指導員室やトレーニング室と繋がっているため、大きい声を出すと両方に聞こえてしまう。
	6	6,業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	80.0%	20.0%	0.0%	朝礼、定例会議等で共有する頻度を高く保っている、	突発的な状況や変化が全体に共有されないことがあるため、メモや共有を強く意識する必要がある。
	7	7,保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80.0%	0.0%	20.0%	保護者アンケートを通して要望や意見を取り入れている。	
	8	8,職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80.0%	0.0%	20.0%	朝礼、定例会議等で共有する頻度を高く保っている、また、職員同士で話し合っ決めてる機会を多く行っている。	
	9	9,第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40.0%	40.0%	20.0%	コンサルタント会社による会議の取り入れを行っているが、第三者評価は実施していない。	
	10	10,職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	外部研修の受講、日時調整等、可能な限り参加できる機会が用意されている。	
業務改善	11	11,適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	80.0%	0.0%	20.0%	ホームページにて公表している。	
	12	12,個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者との面談を基に、職員同士で話し合うルーティンができており、実行できている。	
	13	13,放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	児童指導員を含めた会議の実施ができています。	
	14	14,放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	支援会議での決定事項や内容を回覧にて共有し、漏れのないようにできています。	
	15	15,こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	60.0%	20.0%	20.0%	アセスメントツールはあるが、対面による面談を重視し、重要な部分を深く聞き取りすることができている。	アセスメントツールにかかる時間が長く、そこから聞き取りを実施すると、保護者の拘束時間が長くなってしまったため、要改善。
	16	16,放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	児童指導員を含めての意見交換、情報共有をしたうえで、確認しながら設定することができている。	
適切							

切な支援の提供	17	17.活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80.0%	0.0%	20.0%	イベントに関して、職員間で話し合いをしながら立案できている。	教室独自のトレーニングを実施しているが、職員個人による立案が多い。
	18	18.活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	内容が同一のものにならないように、各職員で工夫している。	
	19	19.こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	80.0%	0.0%	20.0%	集団療育をメインとして運営しているが、個別対応が必要な児童には計画に設定したうえで、対応することができている。	
	20	20.支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80.0%	0.0%	20.0%	必要に応じて事前に情報共有や役割分担の話し合いを実施している。	当日の実施前に必ず実施できているわけではない。
	21	21.支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20.0%	60.0%	20.0%	勤務時間とサービス提供時間の都合上、当日中には難しいが、翌日には情報共有を含め報告及び相談ができている。	
	22	22.日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	個別支援計画に沿って、各目標に対する支援実施状況の記録を毎回取ることができている。	
	23	23.定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	個別支援計画会議の実施時に、児童指導員を交えてモニタリングを実施することができている。	
	24	24.放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	60.0%	20.0%	20.0%	極力実施するよう努めているが、地域交流の機会に関しては、イベントにて地域資源の活用をする、ぐらしかできていない。	
	25	25.こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	80.0%	20.0%	0.0%	生徒の意見が反映できる内容のトレーニングを実施できることがある。	集団活動を行う中で、それぞれが自己選択できるような支援内容を提供することがあまりできていない。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	26	26.障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	児童指導員と日頃の様子を共有し、個別支援計画を担当している児童発達支援管理責任者の参加ができている。	
	27	27.地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	40.0%	60.0%	0.0%	地域のコミュニティの一員として参加できる行事や情報共有などを可能な限り行っている。	横並びの関係性はよくあるが、他職種や他分野施設等の連携は、取れていない。
	28	28.学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	学校との情報共有を密に取らせていただいている。また、生徒に関する面談ができている学校も多い。	生徒が通っている学校で、情報共有ができていないところもある。生徒に関する支援の方向性的にも、今後実施していきたい。
	29	29.就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	20.0%	60.0%	20.0%	保護者から細かく伺うようにしている。	就学前に利用していたサービスとの情報共有は現状できていない。
	30	30.学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	昨年度卒業生に関して、保護者の方より意向があり、実施した。	
	31	31.地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	60.0%	20.0%	20.0%	児童発達支援センターとの顔合わせはできている。	児童発達支援センターとの連携機会を設けることができていない。
	32	32.放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	80.0%	20.0%	0.0%	イベントで地域資源を活用し、一緒に遊びに参加してもらい、楽しく交流できるようにしている。	こちらが主催として地域の子どもを招待したイベントや機会を設けたことはない。
	33	33.（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	20.0%	40.0%	40.0%	自立支援協議会ではなく、地域の連絡会に参加し、間接的な参加を行っている。	指導員の参加機会がなく、自立支援協議会との関連性がない。
	34	34.日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	支援後報告、面談時、自宅送り時等、さまざまなタイミングで可能な限り、報告や情報共有を行っている。	
	35	35.家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20.0%	60.0%	20.0%		ペアレントトレーニングについての知識や技術不足。

保護者への説明責任等	36	36.運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約時には書面をもとに細かく説明を実施している。	
	37	37.放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	80.0%	0.0%	20.0%	本人の意向を確認できる場合には実施することもある。決めた内容を子どもに話し、意識させることもある。	子どもへの意向確認が少なく感じる。
	38	38.「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	0.0%	わかりやすく説明を行うとともに、確認の署名と必ず複写をお渡ししている。	
	39	39.家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者の方から相談しやすい環境作り、接し方を心掛けている。	
	40	40.父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0.0%	100.0%	0.0%	きょうだいで交流はよくあり、教室で安心して過ごせるように、様子を見守っている。	保護者同士の交流機会の提供を行っていない。
	41	41.子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	苦情を言ってもらえることに感謝をし、教室のより良い発展のためという意識を持って迅速に対応している。	
	42	42.定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	従来の紙での通信に加え、ブログやSNSでのイベント活動報告などを掲載している。	電話とメール以外での連絡手段を考えている。
	43	43.個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	鍵付きのキャビネットによる保管を徹底している。	
	44	44.障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	視覚的な案内や道具を用意したり、クローズドクエスションでの質問をしたりしている。	
	45	45.事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0.0%	100.0%	0.0%	地域の人に通っていることを知られたくない方が少数いることを懸念し、慎重に判断している。	
非常時等の対応	46	46.事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	80.0%	0.0%	20.0%	職員への周知徹底を行っている。	全体量が多く、職員の理解が深いところまで追いついておらず、保護者説明をするにあたっても限られた職員からの案内になってしまう。
	47	47.業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	計画の策定、見直し、研修、訓練を実施するため、スケジュール設定を行っている。	
	48	48.事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約時に必ず聴取及び記録票を用い、漏れのないようにしている。	
	49	49.食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	60.0%	40.0%	0.0%	契約時に必ず子どもに関する細かい情報(予防接種歴や持病等)を聴取している。	医師の診断書を用いるほど重篤なアレルギーを持つ利用者が現状いない。
	50	50.安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	80.0%	0.0%	20.0%	子どもの安全を最優先に、日頃の過ごし方や環境配慮を徹底している。	
	51	51.子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約時に必ず説明するようにしている。	説明事項が多く、契約時等にかかる時間が数時間にも及んでしまっている。
	52	52.ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	なるべく多く記録を残すようにし、毎月行われる教室長会議や教室毎の定例会議において、情報共有をおこなっている。	
	53	53.虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	施設内研修の実施及び施設外研修への参加を積極的に行っている。	
54	54.どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	こういった場面でこういった拘束を行うか、例を示したうえで、身体拘束の同意書を以て同意していただいたうえで、個別支援計画に記載している。		

※この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。